

## 町田リサイクル文化センターの施設整備事業に関する説明会質疑回答

日 時 2016年8月13日(土) 18:00～20:10

場 所 町田リサイクル文化センター 2階研修室

出席者 23名

### 次 第

1. 新たな熱回収施設等の施設整備事業の概要及び進捗状況
2. 事業スケジュールについて
3. 都市計画変更原案について

### 意見概要

配布資料「2. これまでの経過」について		
1	市民	1982年以前も下小山田で清掃事業を行っていた。ごみ処理施設の経過として記載すべきである。
	町田市	今回の説明会は現有施設に関するものとして、現有施設に関する経過のみを記載したが、今後は記載していく。
施設の利用等について		
2	市民	見学者用のバス等の大型車専用駐車場が町田リサイクル文化センター内で一番停車しやすい場所に位置しているのはおかしい。事業コンセプトの「3. 市民がともに学び・遊び・育むことのできる施設」にあるように市民の使いやすさを優先し、その場所を市民に使わせるのが当然である。
	町田市	今後は、大型車が停車すると事前に分かっている時以外は、バスの駐車場は開放していく。新たな施設でも配慮していきたい。
3	市民	管理棟解体後に町田リサイクル文化センターの印刷機が使用できなくなる。今後はどこを使用すればいいのか。
	町田市	仮設管理棟は、スペース的な制限と安全性の面から、市民が利用する設備等の対応ができないため、近隣の忠生市民センターを使用していただきたい。
	市民	忠生市民センターの印刷機は、町田リサイクル文化センターのようにいつでも使うことができるのか。
	町田市	確認する。
4	市民	花の家、リサイクルショップ等は今後どうなるのか。
	町田市	花の家は、町田リサイクル文化センターの反対側で現在建設中の建物に移転する。リサイクルショップは、現在、境川クリーンセンター(旧し尿処理場の管理棟)で業務を行っているが、今後も境川で継続していく予定。具体的な内容は調整中だが、新施設の管理棟にも修理・再生・販売ができるようなスペースを設ける予定である。

不燃・粗大ごみの減量について		
4	市民	不燃ごみを 70 (t/日) から 47 (t/日) にどうやって減らすのか。
	町田市	新たな施設では、ピットに入れる前に選別して資源化を行う。
5	市民	不燃・粗大ごみでリサイクル家具以外の家具類はどうするのか。
	町田市	鉄、アルミ以外の資源化も方針として示している。具体的な方法については、事業者提案を求めているため、現在は示せない。
不燃ごみの持ち込み・粗大ごみの収集について		
6	市民	不燃ごみ持ち込みができなくなる代わりに、現在月 2 回の燃やせないごみの収集日を、5 週目まである月は、月 3 回に増やしてほしい。
	町田市	収集の回数を増やすにはコストがかかるため、効果等について根拠となるデータが必要になる。持込制限後に搬入のデータ等を見て判断していきたい。
7	市民	粗大ごみのトラックの搬入台数も 9 月から減るのか。
	町田市	粗大ごみの収集は、これまで通り継続していく。
施設の安全性について		
8	市民	不燃・粗大ごみ処理施設の回転式破砕機の安全対策と事故例を知りたい。
	町田市	事故が起きないような仕組みになっているか、事業者提案の安全対策等を見て協議していく。
9	市民	バイオガスは危険ではないか。安全対策はどうなるのか。
	町田市	バイオガスの主成分はメタンと二酸化炭素であり、メタンは都市ガスの主成分と同じである。安全対策は、構造上漏れないよう対策を施すことやガス検知器等による現場対応が考えられる。 また、バイオガス化施設は下水処理場でも多数の実績があり、大きな事故もない。また、ガス遮断機等も取り付け、2重3重の安全対策を徹底していく。
10	市民	バイオガス化施設を有する南但クリーンセンターで火災が起きたと聞いている。下水処理場のバイオガス化施設で大きな事故がないとしても、し尿と家庭生ごみでは施設に入れている種類が異なるため心配である。本当に安全なのか無駄がないのかをしっかりと検証して、導入してほしい。税金の無駄遣いだと思う。資源化には繋がらないと考えている。このような考えの住民がいるということを承知して事業を進めてほしいと思う。
	町田市	南但クリーンセンターでの事故は、バイオガス化施設での事故ではなく、焼却施設でごみを溜めておくピットで起きた火災である。ピットの中に使い捨てライターが大量に含まれていたため出火した事故である。
11	市民	バイオガス化施設のメリット及びバイオガスの用途について知りたい。
	町田市	町田市一般廃棄物資源化基本計画の有識者や市民代表の検討により、環境負荷低減を目的として生ごみの資源化が方策としてあがり、バイオガス化施設が検討された。その後、より具体的な検討により、燃やせるごみの抑制のため、18000 トンの生ごみを資源化するバイオガス化施設の検討を行った。 バイオガスの用途については、主に発電を考えているが事業者提案も求めている

		いるので、CNG 車に利用する可能性もある。
スケジュールについて		
12	市民	施設整備について詳細なスケジュールを知りたい。2016 年下半期は、工事は無いのか
	町田市	<p>現在、事業者の選定を進めており、詳細なスケジュールについては、12 月の契約後に事業者と設計協議を進めて決定する。</p> <p>本年度は、本体工事に向けて、8 月 22 日から蒸気配管の移設工事、11 月から仮設管理棟建設を実施する。その後の想定される流れとしては、花の家と管理棟の引っ越し後、管理棟と花の家、温室等を解体工事、2017 年の秋頃から造成工事が始まり、2021 年まで建設工事を行う。2022 年 1 月に新施設稼働、2024 年に現有施設解体の完了予定。</p> <p>工事の詳細なスケジュールについては、決まり次第、広報、ホームページなどでお知らせする。また、工事説明会を開催する。</p>
都市計画の変更について		
13	市民	当初、建設地選定に関する説明会等では、用途地域を変更する旨の説明はなかった。今になってなぜ変更するのかを説明すべき。
	町田市	<p>建設候補地選定の説明会では、都市計画に関する説明をしていない。</p> <p>建設候補地選定と施設計画の検討は、同時並行で進められており、スタートの時点では、バイオガス化施設を含めて具体的な施設計画が定まっていなかった。工業地域だけは建設できる地域が限定されてしまうことから、工業系用途である準工業地域を含めた検討を進め、候補地と施設計画が決定した段階で、バイオガス化施設を建設するにはどのように進めればよいかを関係機関と調整を行った。その結果、都市施設として整備する施設であるため、用途地域の指定条件に適合させ、工業地域に用途変更することを決定した。</p>
14	市民	都市計画変更の説明は単独で行うべき。重要度が違う。
	町田市	施設に関連する内容として施設概要、スケジュール、都市計画はすべて重要なものだと考えている。
15	市民	準工業地域から工業地域に変更するのは、環境負荷が増すからか。
	町田市	<p>用途地域の変更は、バイオガス化施設が建築基準法で、準工業地域に建設できない用途となっているためである。</p> <p>環境負荷については、処理能力の減少に加えて、これまで地区連絡会等での市民を交えた検討により非常に厳しい自主規制値等の環境基準を設定しているため、これまでより環境負荷は低減する計画である。</p>
16	市民	蓮田の整備と竹桜地区の歩道拡幅の経緯について。今回の町田リサイクル文化センターの施設整備事業に関係あるのか。
	町田市	<p>竹桜地区の歩道拡幅は、町田リサイクル文化センターの区域変更に関係しているため、今回の説明会と関連して説明した。</p> <p>蓮田の整備は今回の説明会とは関係ない。</p>

17	市民	用途の変更をしてまでバイオガス化施設を建設するのか。周辺の地価が下がってしまうのではないか。
	町田市	不動産鑑定をしないと地価の影響は分からない。市では、安全・安心な施設を建設するため、地価に関する調査を行う予定はない。
地域貢献について		
18	市民	新たな施設での地域貢献はどのように行っていくのか。
	町田市	会議室やPRホールなど地域の方が利用できる設備を整備する。また、本施設は防災施設として位置づけられるため、災害時には活用していただける。その他の活用方法についても意見を聞きながら検討していく。
19	市民	この施設が半永久的になっていくだろうから、地域の人が喜ぶような施設にしてほしい。
	町田市	分かりました。
周辺整備の要望等について		
20	市民	蓮田整備などの周辺の要望対応はどうなっているのか。熱回収施設等の整備と同時並行で行ってほしい。
	町田市	現在、測量調査を実施している。今後、地権者の意見を踏まえて基本計画等の検討を進めていく。
21	市民	地域の要望・意見はどのように反映させるのか。地区連絡会等で反映するのか。
	町田市	地区連絡会は施設の整備や運営に関する検討を行う場である。地域の意見は、周辺の町内会等の意見を聞いていく。
22	市民	公に意見を募集することはないということか。周辺の町内会から意見をもとに計画を立てるということなら、要望が偏る可能性があると思う。
	町田市	周辺地域の意見を聞いて、市として協議調整を重ね、計画していきたいと考えている。
資源ごみ処理施設について		
23	市民	相原、上小山田の資源ごみ処理施設の進捗について。
	町田市	相原は2013年10月から地区連絡会を立ち上げて検討を進めており、基本的な施設計画（配置計画、動線など）は決定している。今年度は、検討結果を仕様書にまとめていく。 上小山田は579号線の進捗に合わせて進めている。2015年10月に地区連絡会を立ち上げて検討を進めている。
現有施設解体後跡地・最終処分場等の整備計画について		
24	市民	現有施設解体後の跡地、最終処分場、ビン・カン選別施設の跡地利用の用途はどうか。
	町田市	現有施設解体後の跡地は、周辺の皆様と協議して用途を決めていく。 ビン・カン選別施設は、上小山田・相原の資源ごみ処理施設の建設後に廃止する。

		最終処分場は、地域の皆様と協議して用途を決めていく。
25	市民	最終処分場池の辺地区の整備の進捗について。
	町田市	地域の方から要望をいただいているので、意見を伺いながら整備を進めていく。
広報等について		
26	市民	小山田桜台に回覧が来ていなかった。ホームページや広報等は分かりやすいように掲載すること。
	町田市	今後もより多くの方に分かりやすくお知らせできるよう、広報まちだ、回覧、ホームページ等を活用していく。
27	市民	建設ニュースの配布方法について。
	町田市	新聞折り込みにより配布している。また、ホームページにも掲載している。各市民センター等にも置いている。
28	市民	説明会はこれだけで終わるのか。今後予定しているものはあるか。
	町田市	都市計画変更については、2015年9月・10月の説明会で説明している。また、2016年3月のアセス説明会でも説明している。 都市計画に関しては、現在、予定している説明会はないが、今後の進捗に合わせて情報提供を行っていく。
29	市民	説明会の議事録をホームページに掲載してはどうか。
	町田市	議事概要を掲載します。
30	市民	説明会資料もホームページに掲載してはどうか。
	町田市	説明会資料を掲載します。